



## 近畿北陸ブロックオンライン(Zoom)交流会

事務局長 吉田信夫

コロナが約2年間続き、この間活動が停滞した。それは全国龍馬社中(以下「社中」と略)内部の交流も影響を受けた。

近畿北陸ブロック内部も同様であるが、越前前田会長の発案で彼女のZoomを使い交流を開始した。

最初は昨年7月、越前3名、金沢3名で開始し、徐々に参加団体を増やした。原則各月1回のペースで行い、先月で7回を数えるまでになった。

最新ではブロック内11龍馬会の内、7団体が参加するようになった。各龍馬会の参加者は1~2名で、金沢が最多の3名である。交流時間は午後8時から30~50分である。

当初は意見交換や雑談が多かったが、現在では各龍馬会の動静、社中幹部の動向のみならず、有志によるミニ講演も行っている。今までのところ内容は龍馬でなく、琵琶湖周辺地区の仏像や防災などである。

また3月中旬に社中の社員総会(役員総会)が開催されたので、それに合わせ社中への要望をまとめ、それを社員総会で発表した。すべて実現という回答ではなかったが、かなり前向きに実現される可能性がある。

昨年社中は任意団体から一般社団法人に衣替えをした、また社中上層部の病気で人事異動があるので、今までとは違う運営と方向性が期待できそうである。

## 志士たちが活躍した長崎とは ⑫ 番外

内田正風 岩村高俊

今回は長崎と直接関係ないかもしれないが明治のはじめ、今でいう石川県知事となった2名の人物について紹介したい。

1名は初代で薩摩出身の内田政風であり、もう1名は第4代第5代の岩村高俊である。いずれも評価と同時に問題もある人物である。

先ず内田政風であるが、明治4年廃藩置県が実施され、その直後に派遣され金沢県令、石川県令となった。彼は幕末に島津久光の側近として倒幕運動に参加した。江戸や京都の留守居役を務め、禁門の変や戊辰戦争にも兵站として参加している。久光の信任が厚い部下であった。彼の石川県での在任期間は明治4~8年であった。県庁ははじめ金沢に置かれた。政風は途中明治5~6年にかけて、県庁を手取川沿いの美川へ移した。理由は当時七尾県があり、金沢県の県庁が金沢では県の北に寄りすぎているということである。

しかし本当の理由は、金沢に元武士が多くあまりにも抵抗勢力だと感じたからということらしい。

なお手取川のことを石の多い川「石川」と呼称したことにちなみ石川県となった。

その後美川では政務をとるのに不便だったので、県庁所在地を金沢へ戻したが、石川県の名称は今に至るまで変わっていない。内田は県令を辞めた後、鹿児島へ戻り島津家の家令となった。そして明治26年79歳にて没した。

次に岩村高俊であるが、在任期間は明治16~23年であり、途中で県令から知事へと呼称が変わっている。この人物は若干複雑である。

実は龍馬の弟子と称している。高知出身の武士であり、慶応3年に鉄砲購入のため長崎へ行き、土佐藩監察佐々木高行の指示で京都へ派遣され、そのまま「陸援隊」に入隊した。

海援隊の龍馬と陸援隊の中岡慎太郎が近江屋で暗殺されたのち、陸奥宗光、沢村惣之丞達と一緒に天満屋へ紀州藩三浦休太郎を襲撃している。そこを警護していた新選組と切り合った。暗殺犯は多分三浦や新選組ではなかったであろうが、海援隊隊長と陸援隊隊長が暗殺されたから当時の判断としては当然のことであろう。戊辰戦争では最初東山道に参加し、ついで北越戦争では越後長岡でかの有名な長岡藩家老河合継之助と会談した。しかし河合の請求と力量を見誤り長岡藩と激戦が繰り広げられ政府軍は多大な被害を被った。当時政府側だった加賀藩も二百八十人以上の戦死者を出した。この当時の彼への評価はさんざんたるものである。

龍馬ともほとんど会ったこともないのに龍馬の配下であると判断され、重要な地位を与えられたのにも関わらず、偉そうに振舞い、河合継之助の人物と実力を見誤り、味方に多大な被害を被ったとなれば当然の評価であろう。

特に長州勢からの批判が多かった。さらに長岡藩はアームストロング砲やガトリング砲を保持していたのだから、軽視すべきではなかった。(佐賀藩は違う型のアームストロング砲を使い江戸で彰義隊をせん滅した)

しかし彼は維新以降大久保利通との関係が良く、各地の県令・知事を歴任した。佐賀の時は佐賀の乱に火をつけ、その後それを鎮圧した。数え方にもよるが8県の県権令・県令・知事を歴任した。転勤族ならぬ、転勤知事であった。

その内の一つが石川県令・知事である。最終的には貴族院議員となり従二位・男爵となった。

参考資料: Wikipedia

美川にある

「石川県廳跡」石碑、  
「明治五年二月二日設置、明治六年一月十四日金澤へ移轉」とある



## 【編集後記】

皆さま、今年も宜しくお祈りします。心の中に常に“龍馬の志し”を持ち張り切ってまいりましょう。会報も第31号が完成、漸く皆さまにお届けすることが出来ました。

\*\*\*\*\* 事務局 \*\*\*\*\*

## 金沢龍馬会

会長: 蛭子政喜

事務局長: 吉田信夫

080-5600-1113

[jitianxinfu@hotmail.com](mailto:jitianxinfu@hotmail.com)

会報担当: 中田俊郎 090-7806-2269

[n-toshio@muji.biglobe.ne.jp](mailto:n-toshio@muji.biglobe.ne.jp)

金沢龍馬会 公式ホームページ

<https://kanazawa-ryomakai.com>

金沢龍馬会 facebook

<https://www.facebook.com/kanazawa.ryomakai>

